

NINNA NANNA SEAMLESSKNIT
(ニンナナンナ シームレスニット)Baby Carrier
取扱説明書

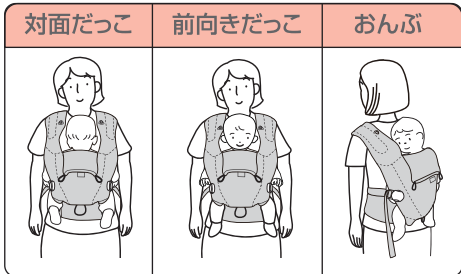
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。抱っこひもを3年以上ご使用の場合、生地などの経年劣化により、本来の性能を果たせず危険をまねくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- ご使用前に、品質保証書に次の項目を記入してください。
- ① 製品名（本書に記載されております。）
ロット No. (ウエストベルト内側にある8桁の洗濯表示ラベル)
 - ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③ 販売店名
- 品質保証書上部のレシート貼り付け欄にレシート（領収書）をお貼りください。

ご使用前に

このたびは NINNA NANNA SEAMLESSKNIT（ニンナナンナ シームレスニット）をお買い上げいただき、ありがとうございます。この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」をして、外気浴、買い物のときなどに使用するための1人用抱っこひもです。ご使用前に、「各部のなまえ」をご確認ください。

- お子さまを「対面だっこ」「前向きだっこ」「おんぶ」できます。
- 対面だっこ……首すわり(4ヵ月ごろ)～24ヵ月(体重13kg)まで
- 前向きだっこ……首すわり(4ヵ月ごろ)～15ヵ月(体重11kg)まで
- おんぶ……腰すわり(7ヵ月ごろ)～24ヵ月(体重13kg)まで



取扱方法動画はこちら

使用できるお子さまの月齢について

使いかたのスタイル	新生児 (0ヵ月)	首すわり (4ヵ月ごろ)	腰すわり (7ヵ月ごろ)	15ヵ月	24ヵ月	限度体重
対面だっこ			首すわり～24ヵ月まで			13kgまで
前向きだっこ			首すわり～15ヵ月まで			11kgまで
おんぶ					腰すわり～24ヵ月まで	13kgまで

※ 冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。

※ お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。

※ 使用者の腰まわりは120cmまでです。

※ お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります。

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
- 注意**

誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

△ 記号は警告・注意をうながす内容があることをお知らせするものです。

警告

ご使用の際は、以下のバックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

- ホールドバックル
- 肩バックル（左右2カ所）
- 腰バックル

使用中に走ったり、飛び跳ねたり、45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。お子さまが開口部から落下するおそれがあります。ものを拾うなどの動作でかがむ際は、必ず手でお子さまを支え、お子さまの頭が下向きにならないようにひざを曲げてかがむようにしてください。

製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながります。

お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床などの上で必ず安全な場所で行い、手で支えながら低い姿勢で乗せおろしてください。お子さまが落下するおそれがあります。特におんぶ時は注意してください。

お子さまの顔が使用者のからだに密着する、あごが胸につくほど首が強く曲がるなど、気道をふさぐ状態にならないよう注意してください。お子さまが窒息するおそれがあります。装着時はお子さまの頭部を動かせる余裕があるよう装着してください。

だっこおよびおんぶをするときは、必ず手で支えてください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

ご使用の際は、わきベルトと腰ベルトの長さを使用者の身体にあわせて必ず調節してください。調節が甘く、お子さまと使用者の間に過度なすき間が生じていたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

電車、バス以外の乗り物などでは使用しないでください。お子さまの思わぬ動きで転倒のおそれがあります。自転車での使用は転倒したとき、重傷を負うおそれがあります。

家事での使用時には、前かがみによる落下、コンロなどによるヤケド、包丁などによるケガには十分注意してください。

バックルをとめる際はお子さまの手足や衣類をはさまないように注意してください。

- 肩バックルの磁石がペースメーカーの作動に影響をおよぼすおそれがあります。ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。
- 肩バックルの磁石に異物が付着するおそれがあります。使用前に異物の付着がないことを確認してください。
- 磁気による損傷を受けやすいものは近づけないでください。(磁気カード、腕時計、電子機器など)
- だっこやおんぶの際、ウエストベルトでお子さまの足をさはさないように注意してください。お子さまの足を圧迫するおそれがあります。

注意

製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が破損したときには、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

お子さまをだっこまたはおんぶをする以外の目的では、使用しないでください。破損・故障の原因になります。

授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。また、使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。

製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

前向きだっこの際は、お子さまの股幅にあわせて必ず「前向き調節ホック」を調節してご使用ください。お子さまの足がうつ血するおそれがあります。

対面だっこや前向きだっこの際、お子さまの頭で前方の視界がさまたげられないようにしてください。また、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。

はすした状態のバックルの開口部にお子さまが指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、ケガをするおそれがあります。製品を使用しないときは、バックルをとめた状態でお子さまの手の届かないところに保管してください。

- 使用者やお子さまの体調がすぐれないときや痛み、不快を感じたときはすぐに使用をおやめください。
- 肩バックルがお子さまの足に当たるとしたら、使用をお控えください。
- お子さまの様子を常に確認してください。異常が見られたときには、すぐに使用をおやめください。

レシート（領収書）貼り付け欄

品質保証書
コンビ 抱っこひも

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ロットNo.	製品名	保証期間
(ウエストベルトの内側にある8桁の洗濯表示ラベルをご覧ください)		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お名前	お買い上げ日	
お住所 〒	年 月 日	
TEL		
販売店名	住所	
TEL		
修理メモ		

保証規定

1. 1度で使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
3. 保証期間中でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) 縫製品の傷やぶれ、変色。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地災による故障及び損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字が書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないことがあります。

● お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちに記入願います。

● 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

● この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

コンビ株式会社

■ ホームページ
■ オンラインストア(部品購入窓口)combi.co.jp
combi.co.jp/store

26.7

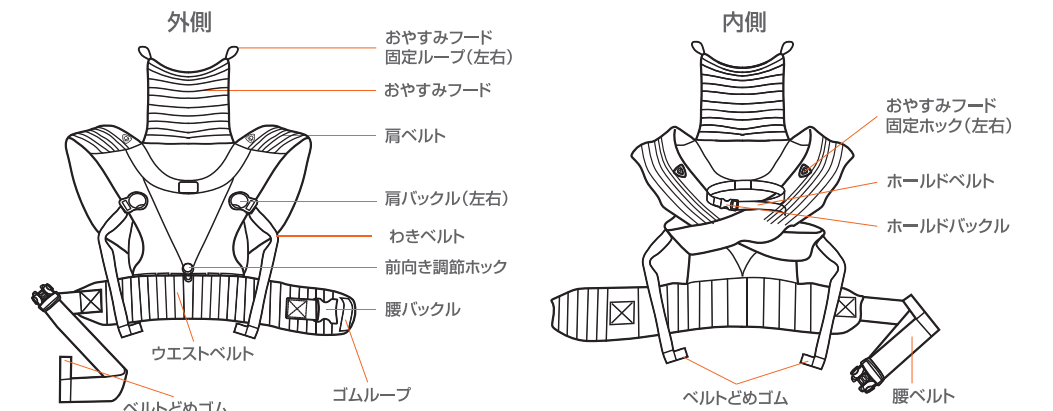
191806040

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)
受付時間: 9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271
TEL: (048) 797-1000 FAX: (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当
受付時間: 10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
〒540-0026 大阪府大阪市中央区本町2-4-16
TEL: (06) 6942-0379 FAX: (06) 6942-0302
*コンシューマープラザホームページ combi.co.jp/soudan

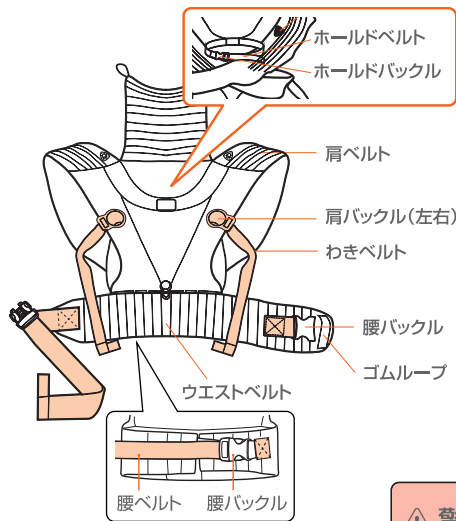
各部のなまえ



各部の調節・取り付け／取りはずしのしかた

装着前にベルトの長さを調節する

装着前に各ベルトの長さを調節してください。調節できるベルトの位置は下図の通りです。ウエストベルトがフィットするように、腰ベルトの長さを調節しておきます。



各ベルトの長さ調節のしかた

下図のようにしてベルトの長さを調節してください。
※ここでは、わきベルトのイラストで説明しています。

- 短くするときは、ベルトのあまりを引っばります。
- 長くするときはバックルを立てて、ベルトを引き戻します。



ベルトが引きにくいときは、図のようにバックルを立てて引いてください。ベルトは、抱っこひもを装着したままでも調節することができます。

肩バックルの取り付け／取りはずしのしかた

- 取り付けかた
① 本体シート側にある肩バックル 装着部に肩バックルを重ね、「カチッ」と音がすることを確認する。
② わきベルトを引っばり、確実にはずれないことを確認する。
- 取りはずしかた
① 両わきの肩バックルのボタンを同時に押し、肩バックルを上へ引き上げ、はずす。

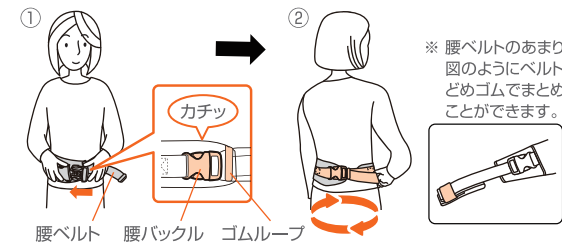


警告 ベルトの調節が甘く、お子さまと使用者の間に過度なすき間が生じていたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

対面だっこで使うとき

1 腰バックルをとめる

- ① 図のように腰バックルをゴムループに通し、「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ② 腰ベルトの長さを調節し、バックルを腰の後ろに回し、本体シート部を正面にする。

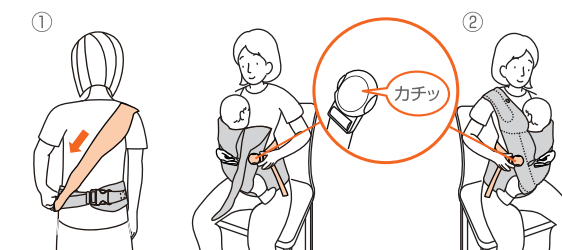


※ 前向きだっこ後で、前向き調節ホックが閉まっている場合は先に広げてください。(前向きだっこで使うとき手順1参照)。
※ 腰ベルトの調節のしかたは「各部の調節・取り付け／取りはずしのしかた」をご覧ください。

- ホールドバックルは確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、低い姿勢で乗せおろしてください。お子さまが落下するおそれがあります。

3 お子さまを抱きながらいすに座り、左右の肩バックルをとめる。

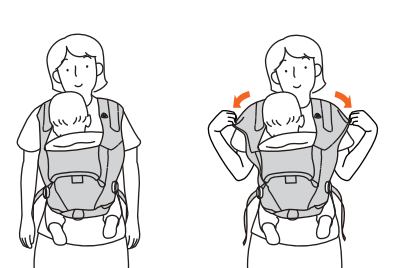
- ① 片手でお子さまを支えながら、片方の肩ベルトを肩にかける。
- ② 反対側の手を背中にまわし、使用者のわきの下から、わきベルトを取り直し、肩バックルが「カチッ」と音がするまではめ込む。
- ③ もう片方の肩ベルトも①と②のやりかたで肩バックルをとめる。



警告 装着時はお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。

4 図のようにわきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる。

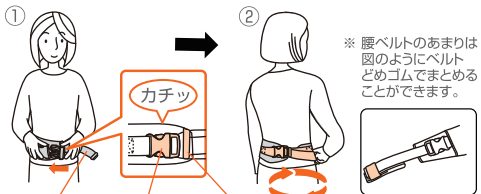
わきベルトのあまりは左右同じ長さになるように調節する。肩ベルトはしっかりと広げる。



対面だっこで使うとき（後のせ装着）

1 腰バックルをとめる

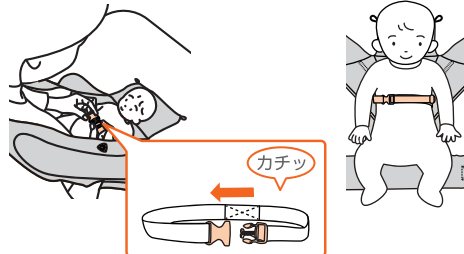
- ① 図のように腰バックルをゴムループに通し、腰バックルを、「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ② 腰ベルトの長さを調節し、腰バックル側の腰ベルトを腰の後ろに回し、本体シート部を正面にする。



※ 腰ベルトの調節のしかたは「各部の調節・取り付け／取りはずしのしかた」をご覧ください。
※ 前向きだっこ後で、前向き調節ホックが閉まっている場合は先に広げてください。
(前向きだっこで使うとき手順1参照)

3 お子さまを抱き上げ、本体のシート部に乗せる。

腰をかがめてソファやテーブルの上などの安全な場所で低い姿勢でお子さまを乗せる。
ホールドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込み、ベルトの長さを調節する。お子さまとホールドベルトの間に、指が2本入る程度に調節してください。



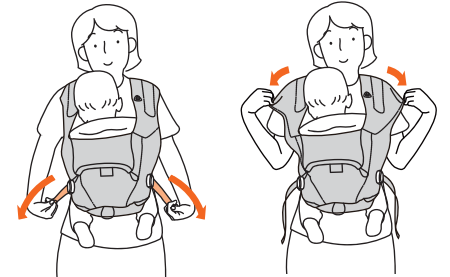
2 左右の肩バックルをとめる

- ① 片方の肩ベルトを肩にかける。
- ② 反対側の手を背中にまわし、使用者のわきの下から、わきベルトを取り回し、肩バックルが「カチッ」と音がするまではめ込む。
- ③ もう片方の肩ベルトも ① と ② のやりかたで肩バックルをとめる。



4 図のようにわきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる。

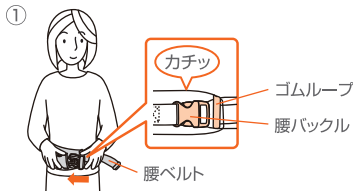
わきベルトのあまりは左右同じ長さになるように調節する。肩ベルトはしっかりと広げる。



おんぶで使うとき

1 腰バックルをとめる

- ① 図のように腰バックルをゴムループに通し、「カチッ」と音がするまで差し込む。
 - ② 腰ベルトの長さを調節する。
- ※ 前向きだっこの後で、前向き調節ホックが閉まっている場合は先に広げてください。
(前向きだっこで使うとき手順1参照)



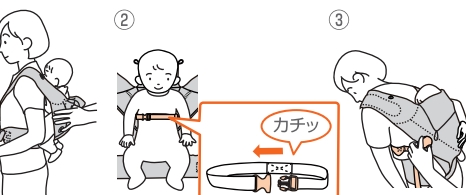
※ 腰ベルトの調節のしかたは「各部の調節・取り付け／取りはずしのしかた」をご覧ください。

3 図のようにわきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる。

わきベルトのあまりは左右同じ長さになるように調節する。肩ベルトはしっかりと広げる。
※ おんぶのときは約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。おんぶしているときは使用者からお子さまが見えませんので、特に低月齢のお子さまの場合は約30分ごとにお子さまをおろして様子を確認するように心がけてください。

ワンポイント

- お子さまと使用者の間に密着感がない場合は以下の手順で肩ベルトを調節してください。
- ① 使用者が前傾姿勢になり、お子さまを使用者の背中に寄せる。
 - ② 肩ベルトの肩部分を持ち、肩ベルト全体をバックル側にしっかりと手繰り寄せる。
 - ③ わきベルトを引き、手繰り寄せた分の肩ベルトをしっかりと締める。
 - ④ 肩ベルトをしっかりと広げる。



警告

- おんぶで装着するときは、必ずほかの人にお子さまを支えてもらいながら操作してください。お子さまが落下するおそれがあります。
- ホールドバックルは確実にとめてください。とめないで使用する、お子さまが落下するおそれがあります。
- 装着時はお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。

おんぶのはずしかた

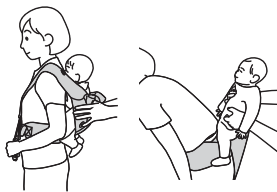
1 お子さまをおろす

腰をかがめてほかの人にお子さまを支えてもらいながら、肩バックルとホールドバックルをはずして、低い姿勢でお子さまをおろす。

2 腰バックルをはずす

警告

- 肩バックルをはずすときはお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、低い姿勢で乗せおろしてください。お子さまが落下するおそれがあります。



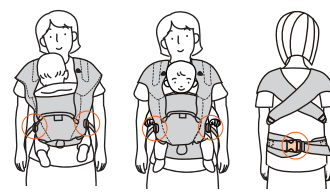
装着状態をチェックする

装着後、必ず装着状態をチェックしてください。

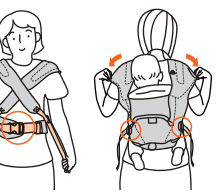
チェックポイント

- わきベルトの左右の長さがあっていること。
- ホールドバックルが確実にとまっていること。
- 肩バックルが確実にとまっていること。
- 腰バックルが確実にとまっていること。
- 各ベルトの長さを使用者の身体にフィットするように調節していること。
(ベルトはなじれやたるみがないこと)
- お子さまのわきやもも、ひざ裏が本体シートに圧迫されていないこと。

【対面だっこ、前向きだっこの場合】



【おんぶの場合】



警告

- チェックポイントを守らないと
- お子さまが落下するおそれがあります。
 - お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
 - お子さまのわきやもも、ひざ裏がうっ血するおそれがあります。

注意

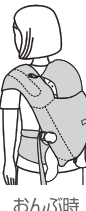
お子さまの頭で前方の境界がさまたげられないように調節してください。
また、足元が見えにくくなることがありますので、歩行には注意してください。

おやすみフードの使いかた

抱っこひもの使いかたにあわせて、おやすみフードをお使いください。



対面だっこ時



おんぶ時

取り付けかた

おやすみフード固定ループを肩ベルトにつけよう。
※ 取り付けにくい場合は、肩ベルトは広げず、おやすみフード固定ホック側をしっかりと持ち、取り付けを行ってください。



取りはずしかた

おやすみフード固定ホックからおやすみフード固定ループを引っばってはずす。



警告

- おやすみフードを使用する際は、お子さまの状態に注意しながら使用してください。気道がふさがると窒息するおそれがあります。
- お子さまが成長して、おやすみフードがきつくなった場合は、使用しないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。
- 前向きだっこの場合は、おやすみフードを使用しないでください。窒息するおそれがあります。

お手入れ

日常のお手入れ

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたいて落としてください。

洗濯についてのご注意

- 色落ちすることがありますので、ほかの洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。漂白剤・蛍光増白剤入りの洗剤は肌あれ、湿疹などの原因となりますので使用しないでください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 洗濯方法は、生地素材については、製品本体に縫製されております洗濯表示ラベルをご参照ください。
- 肩バックルは、風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。未乾燥のまま使用すると破損するおそれがあります。

注意

お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地が固くなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
固くなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

注意

上記を1か所でも見つけたときには、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

抱っこひもの『標準使用期間』について

抱っこひもの『標準使用期間』は「新規購入後3年」です。
標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を失った危険をまねくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。
● 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
● 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります。この期間の品質を保証するものではありません。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
● ご使用の際には、製品のほつれ、傷、やぶれ、部品の破損がないか、確認してください。

SG マークの被害者救済制度

SG マーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。抱っこひもの場合は、お買い上げ日より3年以内が有効期間となります。

● 賠償についてのご注意

認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

● 製品の欠陥により事故が起きた場合

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から 60 日以内に右記までご連絡願います。

一般財団法人 東京都台東区竜泉2丁目20番2号
製品安全協会 ミサワホームズ三ノ輪2階
https://www.sg-mark.org/reparation/

● 事故の届出に必要な項目

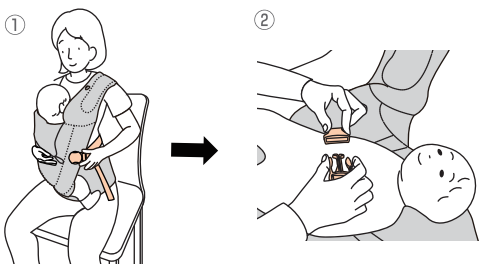
- ① 事故の原因となった製品現品
 - ・製品名称、ロット No.・購入先、購入年月日
- ② 事故発生状況
 - ・事故発生年月日・事故発生場所・事故発生状況
- ③ 被害者の状況
 - ・被害者の氏名、年齢、性別、住所・被害の状況

対面だっこのはずしかた

- ① いすに座り、お子さまを支えながら左右の肩バックルをはずす。
- ② ホールドバックルをはずし、お子さまをおろす。
- ③ 腰バックルをはずす。

警告

- 肩バックルをはずすときはお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、低い姿勢で乗せおろしてください。お子さまが落下するおそれがあります。



前向きだっこで使うとき

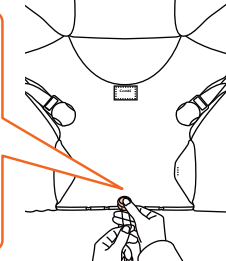
1 本体シートの股部をせまくする。

本体シート中央部にある前向き調節ホックを利用して、股部の幅を可能なかぎりせまくする。

注意

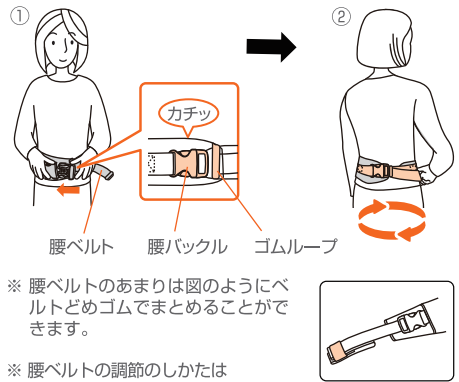
必ず前向き調節ホックで股幅を調節してご使用ください。お子さまの足がうっ血するおそれがあります。

- ① 前向き調節ホックをつまんで押す。
- ② ゴムを引っばる。



2 腰バックルをとめる

- ① 図のように腰バックルをゴムループに通し、「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ② 腰ベルトを調節し、腰バックル側の腰ベルトを腰の後ろに回し、本体シート部を正面にする。



※ 腰ベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

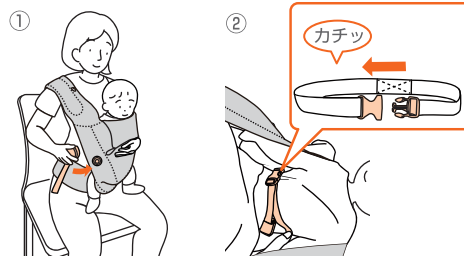
※ 腰ベルトの調節のしかたは「各部の調節・取り付け／取りはずしのしかた」をご覧ください。

3 お子さまを乗せる

- ① いすに座り、お子さまを支えながら本体シート部に乗せ、左右の肩バックルをとめる。
- ② ホールドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込み、ホールドベルトの長さを調節する。お子さまとホールドベルトの間に、指が2本入る程度に調節してください。

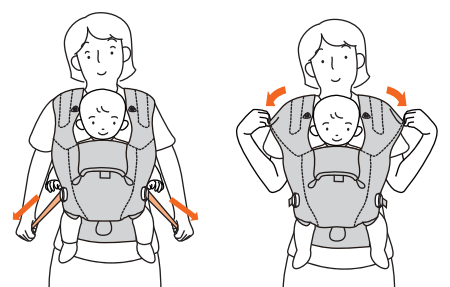
警告

- 装着時はお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- ホールドバックルは確実にとめてください。とめないで使用する、お子さまが落下するおそれがあります。



4 図のようにわきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる。

わきベルトのあまりは左右同じ長さになるように調節する。肩ベルトはしっかりと広げる。



前向きだっこのはずしかた

- ① いすに座り、お子さまを支えながら左右の肩バックルをはずす。
- ② ホールドバックルをはずし、お子さまをおろす。
- ③ 腰バックルをはずす。

警告

- 肩バックルをはずすときはお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、低い姿勢で乗せおろしてください。お子さまが落下するおそれがあります。

